



第4回アジア・太平洋水サミット

アジア・太平洋地域の各国首脳級の強いリーダーシップの発揮や資源の動員による水問題の包括的理解と効果的な解決を目指して、第4回アジア・太平洋水サミット (APWS4) が2022年4月23、24日に熊本市で開催された。

ICHARMは、分科会1「水と災害 / 気候変動 — 気候変動の下で持続可能でレジリエントな道筋に移行するための関係当事者全員によるエンドトゥエンドの努力—」を水と災害ハイレベルパネル (HELP) 事務局、アジア開発銀行 (ADB)、世界水パートナーシップ (GWP)、文部科学省、環境省などの国内外の機関と共に開催するとともに、特別セッション「ショーケース」を主催し、さらに統合セッション「科学技術」をユネスコと共催するなど、積極的に参画・貢献した。

特に特別セッションでは、インドネシアのバスキ ハディムルヨノ公共事業・国民住宅省大臣やフィリピン科学技術省 11 地区局のアンソニー C. サレス局長により、ICHARM が支援を行ってきた、インドネシアでのファシリテータ育成のための e-ラーニング活動やフィリピンでの知の統合オンラインシステム (OSS-SR) などが紹介された。

また、参加首脳級により討議・採択された「熊本宣言」において、サミット参加者に要請された「分野横断的な意思決定において、科学技術がどのような役割を果たすべきか」との問いの答えとして、ICHARM は「水循環の知の統合の促進」、「ファシリテータの育成」、「End-to-End の取り組みの推進」を取りまとめ、サミット全体の議論結果を集約した「議長サマリー」への反映に貢献した。

各セッションの概要や主要提言は、第4回アジア・太平洋水サミット公式ホームページをご覧ください。

<https://apwf.org/kumamoto-2022-jp/thematicsession/>

また、ICHARM の活動概要は下記 ICHARM ニュースレター第65号の記事をご覧ください。

https://www.pwri.go.jp/icharm/publication/newsletter/pdf/icharm_newsletter_issue65.pdf



写真1 統合セッション 参加者による議論



写真2 特別セッション 参加者集合写真